

「ひろがる町工場」

高崎ART製造PROJECTカロエ 代表 山崎将臣



した。

仕事は毎日しんどいもので休みが取れば、一切仕事のことなど考えたこともなかったものであ

し、慣らされる前にここから抜け出そうと「本当にやりたいこと」について考えることができた。そういつた試行錯誤の中からアート作品製作という感覚が消え人生は輝くという本業以外の仕事に運きたように思う。

よく出会い、自分の活かし方と表現の仕方を得ることに繋がった。どうしても譲れない夢すること利益を出す

所であることに気付かさ人にも喜んでもらえるかにかけることができる。カロエの活動の半分はこうした利他的なことなのだが、こうしたことのおかげで今まで接点のなかった業界の方々と一緒に仕事をする機会は、始める前後では比較にならないほどに増えた。

こうした場合には刺激的であり、知りたい衝動は抑えずに学ばせてもらうつもりでいろいろ聞

第9回

遊びでひろがる

る。

「幼い頃から身近にあつたモノづくりはやっぱり天職なんだね」などと言われることが多い。つまり「ずつと仕事してるね」ということが言いたいよう

や、天職というものが見仕事としては考えていないも相手を知ってもら

いて相手が知ってもら

い知識と技術の連鎖が起

「仕事と私生活の境界が全然ないよね」と言われることが多い。つまり「ずつと仕事してるね」ということが言いたいよう

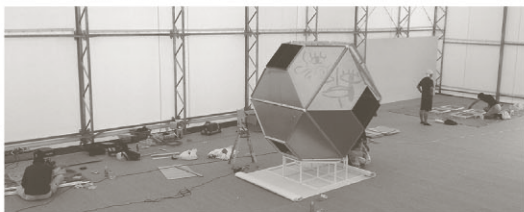
赤字と馬鹿にされても、遊びと揶揄されても、群馬のモノづくりが輝ける舞台を作っていると信じて続けていく。

私も家業の板金屋を継ぐために群馬に戻って

初めは、サラリーマンた。有り難いことに、この

【略歴】05年に精密板造・メッキ・木工・皮革・電気・建築の分野から13社のメンバーと他分野の

確かなONとOFFが存在面白くない仕事を経験しく自分の命を燃やす場



神戸ビエンナーレでの作品設置風景